

2年1組で上小地区教育課程研究協議会生活科の授業が行われる



9月7日に2年1組の生活科の授業実践を提供し、オンラインで上小地区教育課程研究協議会が行われました。子どもたちが川遊びで出会ったカニを飼う中で、カニがくらしやすい「すみか」について友だちと考え合い、試行錯誤をくり返しながら、主体的に追究する姿がみられました。子どもたちの豊かな気づきにつながる授業実践でした。清明小の研究及び授業報告を受けた参会者からは「最後まで責任をもって飼う、主体的な活動を見させていただきました。子どもたちが、しっかりと命に寄り添って向き合っている姿が素敵です。」といった感想をいただきました。

地域講師による授業



6年生 租税教室（上田法人会）



4年生 出前講座（小柳産業）



稲刈り事前学習（西部公民館）

6年生は、租税教室が行われ、税金のきについて学びました。児童の日記を紹介します。
「今日は、租税教室がありました。最初は税金って、ただお金をとるだけで意味がないと思っていました。けれど、もし税金がなくなってしまうといろいろな負担が出てきてしまうということがわかったので、今回の授業で税の大切さを知りました。」
授業の最後に1億円のレプリカを持たせていただき、その重さを体感しました。

4年生は、9／9（金）に上田市の小柳産業の方に出席授業をしていただきました。自分達の出したゴミが、どのように処分やリサイクルが行われるかを業者の方からわかりやすく教えていただきました。「上田市のうめ立て場があと3年で一杯になる」、「日本で1年間使ったレジ袋を全部重ねると宇宙くらいまでの高さになる」、「長野県が一人あたり出すゴミの量は全国一少ない」など驚くことがたくさんありました。最後のペットボトルを砕いたプラスチックを実際に加熱し、プラスチック繊維にする実験を見せていただき、よりリサイクルへの関心を高め、よい学習となりました。

5年生は、9／15（木）に稲刈りをするために事前学習として、米作りアドバイザーの方々に稲の縛り方を教えていただきました。（9／9）5～6束をとんとんして切り口をそろえること、わら2～3本とって2回巻きつけること、くるくるねじってさし込み、縛ることなどのコツを教えていただきました。子どもたちからは、「実際にやると縛っても、うまくさしこめなくて、ゆるくなってしまう」、「何回かやっているうちに結び方が上手になった」などの感想がありました。（お陰で稲刈りは事前学習を生かして、上手に行うことができました。）